

近畿都市学会報

第191号

2015年9月15日

近畿都市学会

近畿都市学会・連絡先

■ 近畿都市学会事務局 宛先

〒599-8531

大阪府堺市中区学園町1番1号

大阪府立大学経済学研究科内

近畿都市学会事務局 事務局長：井上馨

> Eメール：info@kintoshi.org

> ホームページ：<http://www.kintoshi.org/>

> 電話：072-254-9564

会費納入先：ゆうちょ銀行 振替口座

00990-7-86235 近畿都市学会

※ゆうちょ以外の金融機関からは下記で送金できます。

ゆうちょ銀行 ○九九店（ゼロキユウキユウ店）

当座 0086235 キンキトシカ`ツカイ

■ 近畿都市学会編集委員会 宛先

（原稿等はすべてこちらにお願いします）

〒530-0001

大阪市北区梅田1-2-2-600

大阪駅前第2ビル6階

大阪市立大学大学院 創造都市研究科内

近畿都市学会 編集委員会

（担当）副編集長：小長谷一之

> 電話：090-4649-2590

> ファックス：072-721-0064

> Eメール：konagaya@zc4.so-net.ne.jp

1. 2015（平成27）年度秋季大会のお知らせ（予定）

2015年度秋季大会は、茨木市の御協力を得て開催いたします。

（詳細につきましては、次号（第192号）にてお知らせします）

【日時】2015年11月28日（土）

【エクスカーション（予定）10：00～阪急京都線・南茨木駅改札前集合、（発表（予定）13：00～

【発表会場】立命館大学 大阪いばらきキャンパス（茨木市岩倉町2-150）

（1）9：10～12：00 エクスカーション《事前申込制》

（2）13：00～13：05 碓井照子会長挨拶

（3）13：05～14：00 特別講演 茨木市副市長 大塚氏

（4）14：10～17：00 一般研究報告

（5）17：30～19：00 懇親会

★[申込方法] 資料、昼食、懇親会の予約の関係がございますので、参加者には、申込は以下の点電子メールにて事務局へ（電子メールでない場合は郵便はがきにて）。

① エクスカーションの参加の有無

② 懇親会の参加の有無

締切は11月20日とします。

★例年自治体開催である秋季大会は、大阪府茨木市のご協力を得て、実施することとなりました。まちづくりについて副市長にご講演いただき、エクスカーションでは、茨木市のまちづくりを見ていきます。

【研究報告の募集】

①研究報告の申し込み

→報告題目、報告者氏名（所属と連絡先を必ず明記して下さい）、および報告する際の使用希望機器（原則としてPC用プロジェクターに限る）を明記したものを、

10月16日（金）必着で近畿都市学会事務局まで、メールまたは郵便はがきの

いずれかの方法でお送り下さい。

②報告要旨の提出

→報告要旨を作成し、**10月23日(金)必着で上記の近畿都市学会編集委員会まで**、基本的にメール(テキストファイルによるメールが望ましい)でお送り下さい。なお、フォーマットはヨコ40字・タテ38行、10.5ポイント、MS明朝(英数はcentury)とし、図表を含めて、1200字以内とします。図表は、エクセルや画像の形式で、メールでお送りください。

II. 近畿都市学会2015(平成27)年度春季大会のご報告

近畿都市学会の2015年度春季大会は、2015年6月20日(土)に、近畿大学本部キャンパスで開催され、近畿都市学会碓井照子会長による挨拶の後、近畿大学の久隆浩教授による講演「21世紀のまちづくりシステム」が行われました。

ひきつづき以下の一般発表研究報告、大会参加者64名による活発な討論がおこなわれました。一般報告のあと、近畿大学本部キャンパス11月ホール・地階生協カフェテリアにて、懇親会(参加者33名)が盛況のうちに開催されました。

■第1会場(601講義室)

- [101]「道の駅の経営向上に関するモデル分析—民間資金等活用事業PFIの活用による地域振興—」松尾隆策(神戸大学大学院農学研究科)・山口三十四(神戸大学大学院経済学研究科)
- [102]「「地域」による空港運営とは—アメリカの小規模空港オーソリティに学ぶもの—」加藤一誠(慶應義塾大学商学部)・手塚広一郎(日本大学経済学部)
- [103]「芸の脈絡—大阪の花街舞踊の隆盛を中心に—」中原逸郎(京都楓錦会)
- [104]「文化産業・創造産業の定義と近年の都市分布」朝田康禎(熊本大学)
- [105]「地域政策としての文化産業政策の検討」渡部薫(熊本大学)
- [106]「中国・洛陽市における老城歴史文化街区の整備計画と課題」張超越(神戸大学人間発達環境学研究科・院)

■第2会場(602講義室)

- [201]「イギリス住宅政策と都市再生—市場化とアフォーダビリティ—」安田孝(大阪商業大学)
- [202]「既存戸建て住宅の価格形成要因の特徴と住居系地区計画の影響—市場動向をふまえた郊外住宅の将来像に関する研究—」嶋岡雅人(摂南大学)・木多彩子(摂南大学)・竹内正人(大阪成蹊短期大学)
- [203]「大阪市における中小企業支援センターのポストNPM型事業展開—「民間活力の導入」による立ち上げから、多様な主体による「連携」へ—」上田恵美子((公財)大阪市都市型産業振興センター)
- [204]「地域経済開発のためのBOP市場ビジネス戦略」吉岡孝昭(早稲田大学招聘研究員)
- [205]「大都市圏における有配偶女性の労働供給」坂西明子(奈良県立大学)
- [206]「韓国における人材誘引力の空間分布と特性—人材誘引指数(Talent Magnet Index)を中心に—」許文九(韓国産業研究院)
- [207]「急激な観光地化が地域づくりに及ぼす影響—兵庫県朝来市竹田地区の場合—」田中晃代(近畿大学総合社会学部准教授)

Ⅲ. 近畿都市学会理事会等のご報告

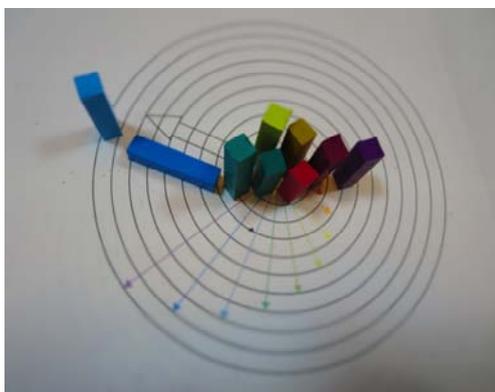
近畿都市学会 2015 年度第 2 回理事会は、2015 年 6 月 20 日（土）に、大会会場で開催され、予算・決算、事業報告・事業計画等を審議しました。

近畿都市学会 2015 年度第 3 回理事会は、2015 年 9 月 11 日（金）に大阪市立大学文化交流センター談話室（大阪駅前第 2 ビル 6 階）で開催され、2015 年度秋季大会（茨木市）等を議論しました。

Ⅳ. 近畿都市学会 55 周年記念事業（近畿都市学会編）『都市構造と都市政策』が、日本都市学会特別賞を受賞！

表記につき、2015 年 9 月 6 日（日）の日本都市学会理事会で受賞が決定しましたのご報告いたします。

（内容紹介）【第 1 部：21 世紀の都市構造の諸問題】「都市構造の変容(交通)」 「都市構造の変容(歴史と展望)」 「コンパクトシティ」 「都市構造と公共交通政策」 「人口変動と都市圏構造」 「高齢化と都市交通」 「郊外論 1－居住と通勤」 「郊外論 2－郊外の空洞化」 「都市発達史的にみた日本のニュータウンの特徴と再生に向けた都市政策」 「中心市街地の衰退と再生」 「人口の都心回帰」 【第 2 部：セクター別の構造と政策】 「住宅市場の構造と特性」 「商業と都市構造の変化－3 元モデルと中心市街地活性化の新しい戦略」 「都市における物流施策」 「工業と都市構造／政策－産業集積地域の活性化に向けて」 「都市型新産業と都市構造／政策－大阪湾ベイエリアは BPE(Branch Plant Economy)の罫から逃れることはできるのか？」 「都市型新産業と都市構造／政策－IT・クリエイティブ系オフィス」 【第 3 部：都市構造とまちづくり】 「GIS とまちづくり(市民参加)」 「都市の発展と文化政策」 「都市と観光」 「医療・福祉とまちづくり」 「新たな社会システムとしての住民主体のまちづくり」 「歴史資産を活かしたまちづくり」 【第 4 部：都市構造と都市経営】 「行財政論」 「都市経営の手法(PPP・PFI 事業：NPM)と都市構造／政策」 「都市構造と防災政策」 「海外の都市政策の動向 1－イギリス」 「海外の都市政策の動向 2－欧州を中心に」 「海外の都市政策の動向 3－創造階級論と都市の創造性」



Ⅴ. 日本都市学会第 62 回大会（関東担当、上越市で開催予定）のお知らせと、日本都市学会第 63 回大会（中部担当）のお知らせ。

日本都市学会第 62 回大会（2015 年度）は、関東都市学会が担当し、2015 年 10 月 30 日（金）・31 日（土）、11 月 1 日（日）に、新潟県上越市において、「新幹線を活かした地方都市のまちづくり」をテーマに開催する予定です。

日本都市学会第 63 回大会（2016 年度）は、中部都市学会が担当します。

詳細はホームページで追って連絡してまいります。学会員の皆様はスケジュールの調整をよろしくお願いたします。くわしくは、日本都市学会ホームページ <http://www.toshigaku.org/> をご覧下さい。

VI. 事務局より（会員異動）

■新入会員

加勢田光博 普通 所属：大阪市立大学大学院創造都市研究科院生。

張超越 学生 所属：神戸大学大学院人間発達環境学研究科院生。

石原肇 近畿（日本都市学会・関東都市学会所属）所属：大阪産業大学人間環境学部教授。

平山紀秀 普通 所属：未掲載希望。

■転入会員 なし

■転出会員 なし

■種別変更

上田恵美子 学生→普通。

山下恒夫 学生→普通。

■所属変更

大和里美 所属：近畿大学経営学部非常勤講師→奈良県立大学地域創造学部准教授

松尾隆策 所属：神戸大学大学院農学研究科院生→神戸大学大学院経済学研究科院生

■退会会員

井出光。

水谷千亜紀。

河本一行。

VI. 2015（平成27）年度総会、および理事会等の結果

2015年総会において、2014年度決算、2015年度予算等、役員等が、以下の通りに承認され、さらにその後の各理事会の決定を経て以下のようになりました。

【2015年度役員（原則としてアイウエオ順、任期2015年6月～2016年5月）】

（会長）碓井照子

（理事）編集：綿貫伸一郎（委員長）、小長谷一之、佐々木雅幸、松澤俊雄

集会：山崎健（委員長）、石田信博、久隆浩

庶務：井上馨（事務局長）、酒井高正、實清隆

（評議員）井出光、稲垣稜、香川貴志、加藤一誠、加藤恵正、坂西明子、佐藤彰男、佐野光彦、関根秀和、醍醐昌英、高山正樹、淡野明彦、寺本光雄、徳岡一幸、長尾謙吉、中川万喜子、藤井正、前川知史、増田昇、三輪康一、文世一、安田孝、安田丑作、山田浩之、山田誠

（監査）竹内正人、森信之

（幹事）井垣貴子、上田恵美子、牛場智、小畑和也、久保秀幸、後藤暁夫、中西久雄、村田和繁、吉川浩

（事務局）大阪府立大学経済学研究科（綿貫研究室）

【名誉会員】（日本都市学会在籍）小森星児、竹村保治、成田孝三、西川幸治

（近畿のみ）天野光三、石原照敏、岡本登太郎、金坂清則、倉田和四生、近藤公夫、田口芳明、鳴海邦碩、西田彦一、野口隆、宮本憲一、三輪雅久、安井司、山本剛郎、吉井藤重郎

【参考：日本都市学会関係（2015年度分）】

（理事）＜支部会長理事＞碓井照子 ＜支部選出理事＞山崎健、久隆浩

（常任理事）小長谷一之

（監事）高山正樹

■近畿都市学会2014年（平成26年）度決算（2014年5月1日～2015年4月30日）

収入の部	予算額	決算額	備考
会費	¥1,400,000	¥1,270,000	
寄付・その他	¥200	¥344,251	同志社大学から補助金30万円、印刷物売上、利息
積立金	¥0	¥0	
前年度繰越金	¥132,036	¥132,036	ゆうちょ¥48,000、南都¥3,969、現金¥80,067
計	¥1,532,236	¥1,746,287	

支出の部	予算額	決算額	備考
日本都市学会費	¥540,000	¥508,000	2014年度分127口 在籍150(名誉1を除く)×85%
大会運営費	¥150,000	¥-8,719	春季大会、日本都市学会大会（秋季） ※黒字収支
会議費	¥10,000	¥1,012	会議お茶代
印刷費	¥400,000	¥340,092	「都市研究」13号、会報第186-188号
人件費	¥30,000	¥26,000	発送アルバイト
通信費	¥120,000	¥71,770	ホームページ費用を含む
運搬交通費	¥40,000	¥20,000	日本都市学会理事会（名古屋）会長交通費
消耗品費	¥40,000	¥17,198	封筒、文具
雑費	¥10,000	¥1,404	振込手数料
積立金	¥0	¥0	
予備費	¥192,236	¥0	
次年度繰越金	¥0	¥769,530	ゆうちょ¥642,000、三井住友¥44,364、現金¥83,166
計	¥1,532,236	¥1,746,287	

■近畿都市学会2015年（平成27年）度予算（2015年5月1日～2016年4月30日）

収入の部	予算額	前年度比	備考
会費	¥1,200,000	¥-200,000	
寄付・その他	¥200	¥0	銀行金利を含む
前年度繰越金	¥769,530	¥637,494	ゆうちょ¥642,000、三井住友¥44,364、現金¥83,166
計	¥1,969,730	¥437,494	

支出の部	予算額	前年度比	備考
日本都市学会費	¥540,000	¥0	年報49号（2015年度）
大会運営費	¥150,000	¥0	春季、秋季
会議費	¥10,000	¥0	理事会等
印刷費	¥400,000	¥0	『都市研究』第14号、会報各号
人件費	¥30,000	¥0	
通信費	¥150,000	¥30,000	ホームページ費用を含む
運搬交通費	¥40,000	¥0	日本都市学会理事会（名古屋）会長交通費等
消耗品費	¥40,000	¥0	
雑費	¥10,000	¥0	
積立金	¥0	¥0	
予備費	¥599,730	¥407,494	
計	¥1,969,730	¥437,494	

■ 近畿都市学会入会（日本都市学会同時入会）のおすすめ

21世紀は人類の大半が都市民となる空前の「都市の世紀」を迎えました。しかし、この急速な都市化の前には、環境、開発・保存、防災、人口、交通、福祉等の深刻な課題が逼迫しています。これらの課題の調査研究は、従来は土木・建築、地理、経済、社会、政治・法等の諸学会の研究課題として取り組まれてきましたが、それらの総合的研究は、未だ十分な状態にあるとはいえません。都市に関する理論や諸問題を研究し、健全な方向に都市の発展を導くような総合的・学際的「都市研究」が、各方面から要請されています。こうした要望にこたえ、第二次大戦後、日本都市学会が復活し、1957（昭和32）年にはその支部として近畿都市学会が設立されました。この間、学会では大学その他の研究者と市政担当者との緊密な協力のもとに、都市に関する総合的な調査研究の実をあげてきました。さまざまな都市問題の解決、都市政策の提言・実践が緊急に迫られている今日、更に多くの研究者、公共団体、NPO・NGO等の市民団体の皆様に御入会をいただき、実り豊かな都市研究を押し進めたいと考えています。この主旨に御賛同のうえ、近畿都市学会に御入会下さいませよう切に希望する次第です。

1. 代表的な年間活動

- (1) 学術雑誌『都市研究』を年1回発行。
- (2) 『近畿都市学会報』を年4回発行。
- (3) 学術雑誌『日本都市学会年報』を年1回発行。[日本都市学会事業]
- (4) 『日本都市学会ニュース』を年2回発行。[日本都市学会事業]
- (5) 近畿都市学会大会を年2回開催（春季大会は大学・学術研究機関等、秋季大会は地方自治体）。
- (6) 他に日本都市学会大会を年1回開催。[日本都市学会事業]
- (7) 日本都市学会賞（奥井賞、論文賞、まちづくり賞、共同賞）の授与。[日本都市学会事業]

2. 普通会员の特典

- (1) 上記、雑誌『都市研究』（年1巻）の購読、投稿（査読論文部門）の機会。
- (2) 上記、『近畿都市学会会報』（年4号）の購読の機会。
- (3) 上記、雑誌『日本都市学会年報』（年1巻）の購読、投稿の機会。
- (4) 上記、『日本都市学会ニュース』（年2号）の購読の機会。
- (5) 上記、近畿都市学会大会（年2回）への参加、発表の機会。
- (6) 上記、日本都市学会大会（年1回）への参加、発表の機会。
- (7) 上記、日本都市学会賞の授与対象となる機会。

※日本都市学会は地方学会（近畿都市学会他）から同時入会となります。普通会员は、年会費8,000円（日本都市学会会費4,000円＋近畿都市学会会費4,000円）です。自治体・法人・企業等は、特別会員（年会費10,000円）となります。

3. 学生会員の特典（学生は普通会员のほか学生会員を選択することもできます）

- (1) 上記、雑誌『都市研究』（年1巻）の購読、投稿（査読論文部門）の機会。
- (2) 上記、『近畿都市学会会報』（年4号）の購読の機会。
- (3) 上記、近畿都市学会大会（年2回）への参加、発表の機会。

※学生会員は、年会費4,000円（近畿都市学会会費のみ）です。

4. 申込連絡先 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号 大阪府立大学経済学研究科内 近畿都市学会事務局 事務局長：井上馨

①ホームページ：<http://www.kintoshi.org> ②Eメール：info@kintoshi.org